

令和6年度 学校経営計画

金沢市立額小学校

(1) 校訓・教育目標

豊かな人間性と知性に富み、創造性と実践力のあるたくましい子どもの育成

(2) 目指す子ども像・学校像・教師像

子ども像…「**挑戦・努力・感謝**」

- 自ら学び、考え、行動できる子
- 心豊かで思いやりのある子
- すこやかにたくましく生きる子

大切にしたい力

- よく聴く力
- 共感する力
- 我慢する力

学校像…「ぬくもりと かのうせい（可能性）いっぱい ぬか（額）小学校」

① 子ども達との丁寧なコミュニケーションを図る

- 子ども一人ひとりと十分な信頼関係を築く
- 安心感を持って学校生活を送る
- 学校に来て楽しかった、良かったという実感をもたせる

② 保護者の学校への信頼感や安心感につなげる

- 子どもが学校に来ることへの満足感や充実感をもつ
- 子どもに関わる悩みや相談に丁寧に対応する（共感的理解）

教師像…「**無理なく、無駄なく、足並み揃えて進む、チーム額小学校**」

① 全ての教職員が組織の一員であることを自覚し、相互に連携して連絡調整を図り、全児童の指導にあたる

② 学校研究を通して授業改善を図り、自らの指導力の向上と教育力の向上をめざす

③ 一人ひとりの子どもを理解し、その発達や実態に応じた柔軟な対応を考え、よりよい人間関係の構築に努める

④ 危機管理意識を高くもち、危機への備えや迅速で適切な対応により、地域・保護者からの信頼を得る

⑤ 仕事の効率化を図るなど働き方改革を推進し、働きやすい環境でそれぞれが持てる力を十分に発揮する

(3) 経営方針

信頼感と安心感のある 笑顔あふれる 楽しい学校

～「シンプルイズベスト」「一点突破・全面展開」を意識して～

(4) 今年度の重点的取組目標と具体的な方策

① 組織的な学校運営

- 主任が機能し、全ての教職員で協働できる体制（フットワーク・ネットワーク・チームワーク）をつくる
- 学校評価に基づくPDCAサイクルを活かした機能的・機動的な学校運営を行う
- 様々な危機に対応する意識の向上を図り、未然防止や早期発見・早期対応が可能な危機管理体制を構築する

② 確かな学力

- 自ら課題を発見し主体的協働的に課題解決を図る児童の育成を目指し、主体的・対話的で深い学び（金沢型学習スタイル）を追究する
- 習熟を図る時間を確保し、児童一人ひとりの基礎基本の確実な定着を図る
- 1人1台端末により、ICTを活用した授業作りを進めるとともに、プログラミング教育等を通じて論理的思考を育む

③ 豊かな人間性の育成

- 生徒指導の三機能（共感的人間関係、自己有用感、自己決定）の活用を図る
- 自分のもの、公共のもの、全員使用のものなどを大切にする心の育成に努める
- 日々の挨拶や周りの人に感謝する心の育成に努める
- 情報化社会の中で、様々な情報に対して適切に考え行動できるようにするため、情報モラル教育を推進する

④ 健やかな体の育成

- 体力向上に向け、体育指導の充実や「体力アップ事業」に積極的に参加し、計画的に継続的な取り組みを行う
- 規則正しい生活の推進及び定着に向けた取り組みを行う
- 命の大切さや身の安全を確保する行動力の育成を図る

⑤ 地域・家庭との連携

- 学校の教育活動についての理解を得るための情報公開に努める
- 体験活動などにおいて、積極的に地域人材の活用を図る
- 子どもや保護者の悩みや相談に対して適切に対応できるよう、教育相談体制の充実を図る

(5) 教職員の業務適正化に向けた具体的な取り組み

- 見通しを持った計画、企画文書作成の適正な振り分け、資料の事前配付に努め、時間意識をもって諸会議を運営する
- 教職員の勤務時間の改善に向けた取り組みについて、保護者・地域に説明するなどし、理解と協力を求める
- 授業準備や校務などの効率化・合理化のために、ICTを積極的に活用する